

第1問 小学校「社会科」における食に関する指導では、我が国の農業における食料生産について、生産の工程などに着目して、食料生産に関わる人々の努力や工夫などを理解するとともに、農業の発展について考えようとする態度を養うことが重要です。

このことを踏まえ、次の学級担任と栄養教諭が連携したティーム・ティーチングの授業について、本時の学習過程の「展開」の教師の主な働きかけの一部分を具体的に書きなさい。

なお、「学習問題」、「主な学習活動」、「児童の反応」、「まとめの例」は、問題に記載されているとおりとする。

第5学年 社会科学習指導案

1 単元名 「米づくりのさかんな地域」

2 単元の目標

我が国の農業における食料生産について、生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、まとめ、食料生産に関わる人々の働きを考え表現することを通して、食料生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に、社会の一員として、これからの農業の発展について考えようとする態度を養う。

3 食育の視点

- (1) 正しい知識・情報に基づいて、食品の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける。(食品を選択する能力)
- (2) 食べ物を大事にし、食料の生産等に関わる人々へ感謝する心をもつ。(感謝の心)

4 単元の評価規準(本時に関わる部分のみ掲載)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などについて地図帳や各種の資料などで調べて、必要な情報を集め、読み取り、食料生産に関わる人々の工夫や努力を理解している。	生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、問いを見いだし、食料生産に関わる人々の工夫や努力について考え表現している。	我が国の農業における食料生産について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

5 単元の指導計画(全11時間)

- (1) 食料生産について学習問題をつくり学習計画を立てる。(1時間)
- (2) 地図帳や資料などで学習問題を追究する。(4/6時間(本時))
- (3) 追究した内容をまとめ、食料生産に関わる人々の工夫や努力を理解する。(4時間)

6 本時の指導計画

(1) 本時の目標

品種改良について調べることを通して、消費者と生産者のニーズを意識して開発が行われていることを考え表現する。

(2) 本時の展開 (5/11時間目)

学習過程	「○」主な学習活動	□教師の主な働きかけ		評価
	「・」児童の反応	T 1 (学級担任)	T 2 (栄養教諭)	
導入	○ 品種改良の必要性やその苦勞について話し合う。 ・なぜ品種改良するのか。 ・どんな苦勞があるのかな。	□ 児童が発表した疑問を関わらせたり、整理したりする。		(略)
	学習問題：なぜ、生産者は苦勞して品種改良をするのだろう。			
展開	○ 消費者が、お米を選ぶ理由を考える。 ・おいしいお米がいいよね。 ・安全なお米がいいな。 ・値段の安いお米がいいね。 ○ 品種改良が、消費者の様々な願いに基づいていることを理解する。 ・消費者の願いを実現するために生産者は、品種改良している。 ○ 生産者が、お米の生産で重視していることを考える。 ・おいしいお米にしたい。 ・消費者に喜んでほしい。 ○ 生産者の品種改良を行うための理由や苦勞を理解する。 ・収益を伸ばすために、様々な苦勞をして生産者は品種改良している。	□ T 2の話から、お米をどのような理由で選ぶとよいか考えるよう促す。 □ 消費者がお米を選ぶ理由をまとめ、お米の品種改良との関係を説明する。 □ 生産者がお米の生産で重視していることを考えるよう促す。 □ 生産者が、お米の収穫量を増やし、収益を得るために行っている品種改良の事例を紹介する。		
終末	【まとめの例】 ・米の品種改良は、消費者の味や安全性などに関するニーズや、生産者の生産性向上の願いを実現するために行われている。 ○ 今後の学習について見通しをもつ。			